

雪まるかじりツアー

～本格かまくら作りコース～

1月4日(木) ～ 1月6日(土)

IN 兵庫県立兔和野高原教育センター

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	かまくらの土台を作ろう	作戦会議、看板作り
2日目	かまくら作り	かまくら作り	かまくらナイト
3日目	片付け、そり遊び	施設を出発・解散	

一日目： 今年3年ぶりに雪がたくさんあるということで、出発前からワクワクしていました。尼崎からバスで施設へ向かっていると、窓の外の景色に少しずつ雪が見え始め、高速を降りる頃には辺り一面雪景色でした。施設に到着後、昼食を済ませ、昼食後は早速雪遊びへと出発しました。かまくらを作る場所まではフカフカの雪の上を一列になって進みました。みんなは雪をかき分け進むだけで大興奮でした。活動場所に到着し、「雪遊びスタート！」という合図と同時に歓声が響き渡り、雪に飛び込み転げ回り遊んでいました。雪の上を走ったり、雪玉を投げ合ったりと各々に雪遊びを楽しみながら、雪を踏み固めました。最後にグループ対抗の雪玉ころがしゲームをした後、施設に戻りました。ウェアを乾燥室に運び、着替えを済ませ、体育館で施設の使い方などのオリエンテーションを行いました。美味しい夕食をいただいた後は、かまくら作りに向けての作戦会議と完成したかまくらにたてる看板作りをしました。明日は待ちに待ったかまくら作りです。寒さに負けず、みんなが満足できるかまくらを完成させよう！！



二日目： 朝早くから元気な声が聞こえてきました。朝食と準備を済ませ、スコップやソリを持ち、活動場所に向かいました。深夜にも積雪があったようで、一日目に踏み固めた雪の上には、新しい雪がたくさん積もっていました午前中は大きな雪山を作りました。スコップで次々と雪を積み上げる係、周りから雪を集めてソリで運んでくる係、雪山の上に乗る踏み固める係など、自然と役割分担がされていました。みんなすぐに汗だくになり、ウェアを脱いだり、ニット帽を外したりする姿が見られました。みんなの背丈よりも高く大きな山が出来たら一度中断し、昼食へ向かいました。午後からは積んだ雪山に穴を掘り、形を整え、かまくらを完成させる行程に取り掛かりました。穴掘りが特に大変で、上半身を滑り込ませ、スコップでひたすら雪を掻き出す作業をしました。一生懸命作業を続けた結果、どのグループもメンバー全員が入れる大きさのかまくらを作ることができました。完成した後は、前日に作った看板を立て、全員でかまくらに入り記念撮影をしました。夕食後は今回のキャンプのメインイベント『かまくらナイト』です。一生懸命に作ったかまくらの中で七輪を用いて餅やマシュマロを焼き、美味しく食べました。暗い中でも、笑い声や楽しそうな声でみんなの大満足な様子が伺えました。



三日目： 朝食前からシーツをたたんだり、荷物整理をしたり、着替えや洗顔をしたりと大忙しでしたが、眠い目をこすりながらもテキパキと動くことができました。朝食後は施設の清掃を済ませ、最後の雪遊びへ向かいました。吹雪の中、自分たちが作ったかまくらのもとへ行き、名残惜しい気持ちを抑えながら、かまくらを崩しました。早く終わったグループは、他のグループを手伝い、元通りに戻した後、ソリ遊びをしました。初めてのメンバーも多く、やり方とルールを聞き、転びながらも大いに楽しめました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、片付けをして、昼食を済ませました。みんなが大好きなカレーだったので、沢山おかわりをされていました。そして、ついに帰りの時間になりました。様々な思い出が詰まった施設にお別れと感謝を伝え、バスに乗り込みました。帰りのバスではDVDに夢中になりみんなとの時間を最後まで楽しんでおられました。尼崎に到着し、疲れも見られましたが最後の力を振り絞り解散場所まで大きな荷物を運びました。来年の冬も雪が沢山あるといいね。その時までまたねえ～！！



<キャンプ総括>

今年3年ぶりに雪が豊富にあり、子どもたちは真っ白に積もった雪で大興奮でした。盛り上がりながらも、前でリーダーが話すときにはきちんと目を向け聞き、約束やルールは徹底して守る姿が見られました。また、みんなが納得するまで作りたいという意見を尊重し、予定より長い時間かまくら作りをしました。誰一人として、雪の冷たさや作業の大変さには負けることなくかまくら作りを楽しんでおられました。全グループが予想以上に大きなかまくらを完成させ、私自身子どもたちのパワーには驚かされるばかりでした。普段できない経験を存分に楽しんだ3日間になったのではと思います。来年も会えることを楽しみにしております。(児谷 なつみ)